

令和4年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	3		学校名	県立日立第一高等学校				課程	全日制				学校長名	青木 睦人				
教頭名	黒崎 かおる(高校) 萩原 知樹(附属中学)								事務長名	金子 泰章								
教職員数	教諭	73	養護教諭	2	ALT	1	常勤講師	2	非常勤講師	6	実習助手	2	事務職員	4	技術職員等	5	計	99
生徒数	小学科(単位制)	1年次		2年次		3年次		合計		合計クラス数								
		男	女	男	女	男	女	男	女									
	普通、サイエンス	150	91					150	91		6							
	普通			83	76	90	63	173	139		8							
サイエンス			54	27	45	35	99	62	4									

教職員数には、附属中学の教職員を含む。

2 目指す学校像

本校は、高い志を持ち、優れた資質と豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献する人材を育成する学校である。そのため、様々な学習機会を提供し、各教職員がその専門性を活かし、組織的できめ細かな指導を行うことにより、次のような生徒を育成することを目指す。

- 1 自ら課題を発見し、主体的に「やり抜く」ことのできる生徒
- 2 物事を理性的に判断し、筋道を立てて議論できる生徒
- 3 高いモラルと豊かな感性を持ち、リーダーシップを発揮できる生徒
- 4 運動の楽しさや喜びを知り、自ら健康を管理できる生徒

3 三つの方針 (スクール・ポリシー)

育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校は、高い志を持ち、優れた資質と豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献する人材を育成するため、次のような資質・能力の育成を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら課題を発見し、主体的に「やり抜く」ことのできる資質・能力 「やり抜く力」=GRIT: Guts、Resilience、Initiative、Tenacity ○物事を理性的に判断し、筋道を立てて議論できる資質・能力 ○高いモラルと豊かな感性を持ち、リーダーシップを発揮できる資質・能力 ○運動の楽しさや喜びを知り、自ら健康を管理できる資質・能力
---------------------------------------	---

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<p>○進学重視型単位制の特徴を活かし、多様な選択科目を設置し、少人数授業を展開します。 ○普通科では、文系コース・理系コースを通して、生徒の進路希望に対応します。 ○サイエンス科では、医学コース・医学系進学コース、理工系進学コースを通して、生徒の進路希望に対応します。 ○教科指導の充実に努め、主体的・対話的な深い学びを推進し、課題発見能力や課題解決能力を育成します。 ○生徒が主体的に取り組む学習活動と特別活動の両立を推進し、生徒のやり抜く力や自ら健康を管理する力を育成します。 ○生徒が主体的に企画・運営する生徒会活動・学校行事等を充実させ、自主性や豊かな人間性を育成します。 ○国際交流、高大連携事業、大学・職場見学、ボランティア活動等の体験事業を推進し、生徒の高い志を育成します。 ○SSHで培った「課題研究」を推進し、論理的に議論できるリーダーを育成します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<p>○本校の学修に必要な基礎学力を有している生徒 ○他者と協働して活動し、主体的に学ぶ姿勢を有している生徒 ○課題を見出し、課題を解決するための基礎的な思考力・判断力・表現力を有している生徒</p>

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学習指導 進路指導	難関大学や医学部への進学指導が実を結び、東京大学や筑波大学医学部などの合格者が出た。	進学ノウハウの共有と成果検証
生徒指導	生徒の自主性・自律性を重んじた指導が行われており、生徒指導上のトラブルは少ない。	長欠等、目標を見失った生徒や特別な配慮が必要な生徒へのケア
特別活動	学校行事や部活動に生徒が積極的に参加している。部活動と家庭学習のバランスを上手に取れる生徒が増えてきた。	学習と部活動の両立に苦慮している生徒への対応 キャリア・パスポートの効果的な活用の検証
国際教育	コロナ禍で海外への渡航ができず、代替案としてオンラインカナダ研修を実施した。	コロナ禍で実施する研修の充実と検証
科学教育	SSHを中心として課題研究やディスカッションをするスキルは向上してきた。	課題研究や発表・討論などに対する評価の仕方
働き方改革	丁寧な生徒への指導や様々な取組がなされており、一人一人の業務量が多くなっている。	業務内容の精選と見える化による共有、残業時間の縮減

5 中期的目標

- 1 教科指導の充実に努め、主体的・対話的な深い学びを推進する。
- 2 難関大学・医学部進学者の増加を図り、将来のリーダー的人材を育成する。
- 3 生徒指導上の問題に対して、未然防止・早期発見を図り、安全・安心な学校生活を保障する。
- 4 生徒会活動・学校行事等を通して、生徒の自主性を育む。
- 5 学習活動と特別活動の両立を推進し、生徒のやり抜く力を育成する。
- 6 国際交流、大学・職場見学、ボランティア活動等の体験学習をより推進し、キャリア・パスポートを活用しながら、生徒の高い志を育む。
- 7 SSHを通して、科学的思考力を持ちディスカッションのできる生徒を育成する。
- 8 学校及び教職員の業務の整理・見直しを進め、教職員の負担の軽減を進める。

6 本年度の重点目標

	重点項目	重点目標
1	高い志の育成	キャリア教育の充実・キャリア・パスポートの活用（進路指導部、特別活動部、各年次） 高大接続改革への対応（教務部、進路指導部、SSH） 生徒の進路希望を達成する教育課程の編成（教務部、各教科）
2	学力の向上	タブレットの活用及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と評価の見直し（教務部、進路指導部、各教科） 総合的な探究の時間の充実・改善（教務部、SSH、1・2年次） 先取学習や学習の深化など附属中学校の教育内容についての教科会の定期的な開催（各教科） 特別な支援を必要とする生徒や成績が不振な生徒に対する組織的な支援（各年次、各教科） 医学部進学等のノウハウの蓄積（進路指導部、サイエンス科）
3	豊かな人間性の育成	教育相談や面談を通じた生徒理解及び生徒・保護者支援（教育相談部、各年次） 自主的・自律的態度を育てる特別活動や学校行事の充実（特活指導部、各年次）
4	働き方改革	個人で行う業務をチームで分担したり、学校外に委託する部分等を整理したりして、学校の抱える業務量を軽減する。（各校務分掌）